



# こんにちは県議会です

|              |     |
|--------------|-----|
| 定数           | 57人 |
| 自由民主党県議団     | 24人 |
| 改革信州         | 13人 |
| 新政策議員団       | 7人  |
| 日本共産党県議団     | 6人  |
| 公明党長野県議団     | 5人  |
| 無所属          | 2人  |
| 現員           | 57人 |
| (令和5年8月1日現在) |     |



## 令和5年6月定例会(6月22日~7月7日)の概要

知事から令和5年度一般会計補正予算案などの議案が提出されました。

本会議での一般質問(36名)や委員会審査では、少子化対策・子育て支援、交通政策、令和元年東日本台風災害を教訓とした地域防災、物価高騰の影響を受ける県民や事業者への支援など、様々な課題について活発に議論しました。

審議の結果、物価高克服・経済構造転換のための総合対策の実施や、新型コロナウイルス感染症への対応などに必要な予算を盛り込んだ総額211億2,374万円余の令和5年度一般会計補正予算案など30件を原案どおり可決、同意又は承認しました。

議員提出議案は、長野県議会少子化・人口減少対策調査特別委員会設置に関する決議案が可決されたほか、意見書案が11件可決され、3件否決されました。

## 可決した議員提出議案一覧

- ・長野県議会少子化・人口減少対策調査特別委員会設置に関する決議 **特別委員会**は6月定例会で設置しました。(詳しくは裏面)
  - ・中小企業等の事業承継対策の一層の推進を求める意見書
  - ・森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書
  - ・デジタル人材の育成強化に向けた地方の高等教育機関への支援の拡充を求める意見書
  - ・凍霜害等による農作物被害対策の拡充を求める意見書
  - ・地方財政の充実・強化を求める意見書
  - ・義務教育の一層の充実を求める意見書
  - ・地域医療を担う医師の確保対策の充実を求める意見書
  - ・特別支援学校等への教員等の適切な配置等を求める意見書
  - ・薬剤耐性菌感染症のまん延防止への取組体制の強化を求める意見書
  - ・生物多様性の保全・ネイチャーポジティブ\*の取組の強化を求める意見書
  - ・持続可能な介護保険制度の構築を求める意見書
- 意見書は国に提出し、実現を求めました。**
- \*ネイチャーポジティブ(自然再興)・・・生物多様性の損失を止め、回復軌道に乗せること。



## 本会議での主な審議

Q ...議員の質問質疑

A ...知事・部長等の答弁

### 1 少子化対策・子育て支援



- Q** 少子化対策において、社会全体で子育てを応援する機運を醸成するためどのような取組を行っているのか。また、今後の方向性をどう考えるか。
- A** 少子化の進行に歯止めがかからない中、地域、企業等の多様な主体と連携し、これまで以上に社会全体で、結婚、出産、子育てへの理解を深めていく必要があり、「いい育児の日」などの子育てイベントの開催や、令和4年度からは新婚夫婦等に割引などの優待サービスを提供する「ながの結婚応援パスポート」を始めるなど取り組んできた。
- 今後も、長野県将来世代応援県民会議のネットワーク等を活用し、企業と連携した仕事と子育ての両立を実現するための職場環境づくりや、子育て支援団体と連携した子育てしやすい地域づくりなど、機運を高める取組に一層力を入れていく。
- Q** どのように子どもや子育て当事者のニーズを把握し、施策に反映させているのか。
- A** これまで毎年、18歳から49歳までの県民約3000人を対象とした「結婚・出産・子育てに関する意識調査」を実施し、その結果を踏まえて、結婚・出産・子育てに関する総合的な情報を発信するポータルサイト「チアフルながの」を開発するなど、新たな施策の実施につなげてきた。
- また、中学生から高校・大学生、子育て中の女性まで幅広い世代の県民から直接意見をお聴きして、「長野県子ども・若者支援総合計画」をとりまとめた。
- 今年度は、これまでニーズを把握する機会がなかった18歳未満の皆さんを対象とした「子ども・若者モニター事業」を実施し、アンケート調査を行うほか、子ども・若者・女性の皆さんとの意見交換を行い、今後の施策づくりに反映させていく。

### 2 交通政策



- Q** 県内を結ぶ二次交通について、どのような施策を講じることで、県内経済の振興に寄与させていくと考えるのか。
- A** 県内経済の振興のためには、高規格道路、信州まつもと空港、北陸・リニア中央新幹線などの高速交通ネットワークとそれをつなぐ二次交通のネットワークの構築が重要である。
- そのためには、県内高速バスの充実や既存の鉄道ネットワークの連結を図る路線の設定などを市町村や交通事業者と検討していく必要がある。
- また、観光客の交通拠点と観光拠点を結ぶため、観光事業者の協力を得ながら新たな観光周遊バスや定額タクシーを設定することも考えられる。
- さらに、キャッシュレス決済環境の整備やインターネット経路検索サービスの充実など移動の利便性向上を図ることも重要であり、こうした検討を進め具体化させながら経済振興に資する二次交通の整備を図っていく。
- Q** 信州まつもと空港の活性化に向けてどう取り組んでいくのか。
- A** コロナ禍においても神戸線の複便化や札幌丘珠線の夏期通期運航など、路線の拡充が進んできたことから、令和4年度の定期利用者数は、25年ぶりに20万人を突破した。定期便では、「神戸線」を重点路線として位置づけ、関西地域での路線の認知度向上や、大阪・関西万博を見据えたエアポートセールス等に積極的に取り組む。
- また、国際チャーター便は令和2年度から運航実績がないため、早期の回復に向けてツアー造成等への支援を拡充し、航空会社や旅行会社への働きかけを強化するとともに、入国審査用施設の整備等受入体制の充実を図っていく。
- 今後も、地域住民の理解を得ながら、空港の利便性向上と更なる活性化の促進に取り組んでいく。

### 3 地域防災



- Q** 令和元年東日本台風災害を踏まえ、地域防災計画のどのような修正を行ったのか。また、その教訓をどのように水平展開させていくのか。
- A** 長野県地域防災計画については、令和2年度に、流域のあらゆる関係者が協働して取り組む流域治水や、住民一人ひとりの防災行動計画であるマイ・タイムラインの普及、多様な避難先の周知等について記載するといった修正を実施した。
- 今年度からは、信州大学と連携して構築した災害デジタルアーカイブを活用し、長野市松代地区、上田市真田地区をモデル地区として、地域で中核となる防災人材を育成する事業に、信州大学とともに取り組んでいる。
- こうしたモデル事業の活動成果を千曲川流域だけでなく、他の地域にも横展開をし、県全体の地域防災力の底上げを図っていく。
- Q** 避難行動要支援者について、どのように「逃げ遅れゼロ」を実現していくのか。
- A** 災害時に自ら避難することが困難な高齢者や障がい者などの避難行動要支援者が円滑かつ迅速に避難できるようにするためには、効果的な個別避難計画を作成することが必要であり、そのためには防災と福祉の関係者が密接に連携することが重要である。
- 県では、今年度から内閣府の事業も活用し、県内全市町村の福祉担当者や自主防災組織を対象とした研修会を開催するとともに、個別避難計画の作成に取り組む市町村に対し、技術的な助言を行うことにより、個別避難計画の作成を促し、避難行動要支援者の「逃げ遅れゼロ」の実現を目指していく。

### 4 物価高克服・経済構造転換支援



- Q** 適正な価格転嫁の現状と今後の課題は何か。
- A** 中小企業庁の「価格交渉促進月間(2023年3月)のフォローアップ調査」の結果では、コスト上昇分のうちどのくらい価格転嫁できたかを示す価格転嫁率は47.6%となっており、価格転嫁は徐々に進んできているものの、十分ではない状況と認識している。
- 今後更に確実な動きにつなげるため、長野県産業振興機構のよろず支援拠点での価格転嫁サポート窓口の新設や、SDGs推進企業登録制度の新規登録と更新要件に下請企業との望ましい取引慣行の遵守等を宣言する「パートナーシップ構築宣言」を追加するなど、中小企業が適切に価格交渉・転嫁できる環境づくりを支援していく。
- Q** LPガス料金の負担軽減対策をどのように利用者に伝えていくのか。
- A** 個々の利用者に割引の趣旨や制度、割引時期や割引額などを明確にお伝えすることが重要なので、これらの情報を分かりやすくまとめたチラシを作成するなど、LPガス利用者に事前に周知するとともに、割引時点においても、負担軽減の趣旨を、利用者に直接お伝えする工夫をしていく。
- また、LPガス販売事業者は、検針やガスボンベの交換点検など利用者を直接訪問する機会が多いため、こうした機会を通じて、チラシや割引趣旨を直接利用者に届けられるよう、県LPガス協会と連携していく。



# 常任委員会の活動

各委員会では、6月定例会において、付託議案、所管事項に関する質疑等及び請願・陳情の審査を行いました。各委員会の委員長報告は、県議会ホームページでご覧いただけます。また、議会の閉会中には、県の現地機関の調査、企業や団体等の視察、関係者との意見交換などを行っています。



## 総務企画警察委員会



### 【主な付託議案】

- ・一般会計補正予算
- ・県職員(一般職・警察職)給与条例等の一部改正

### 【主な質疑事項等】

- ・事件の初動における警察官の安全確保について
- ・少子化・人口減少対策戦略検討会議について
- ・豪雪地帯への支援策の拡充について



## 県民文化健康福祉委員会



### 【主な付託議案】

- ・一般会計補正予算
- ・県手数料徴収条例の一部改正

### 【主な質疑事項等】

- ・結婚・出産・子育て支援について
- ・介護人材の確保について
- ・医療従事者の確保について

現地調査(6月12日~13日 北信・中信)  
長野地域振興局など現地機関の調査や、看護人材の育成機関の視察などを行いました。



信州木曾看護専門学校の視察

## 産業観光企業委員会



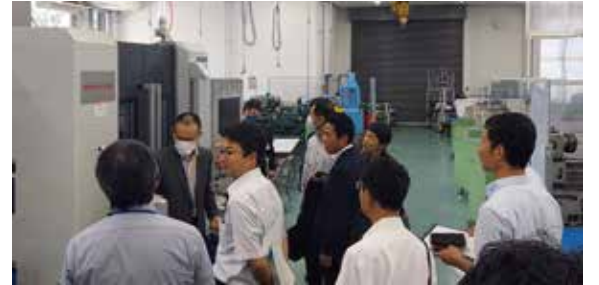
### 【主な付託議案】

- ・一般会計補正予算

### 【主な質疑事項等】

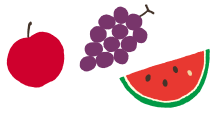
- ・インバウンドの受入体制整備について
- ・物価高の克服・経済構造の転換について
- ・県庁舎100%再生可能エネルギー化について

現地調査(7月24日~25日 南信・中信)  
南信工科短期大学など現地機関の調査や、LPGガスの供給を行う企業の視察などを行いました。



南信工科短期大学の調査

## 農政林務委員会



### 【主な付託議案】

- ・一般会計補正予算

### 【主な質疑事項等】

- ・凍霜害への支援について
- ・農業資材価格の高騰について
- ・信州F・POWERプロジェクトについて

現地調査(7月18日~19日 中信・南信)  
松本地域振興局など現地機関の調査や、米の貯蔵・出荷施設の視察などを行いました。



JA上伊那 米穀乾燥貯蔵施設の視察

## 危機管理建設委員会



### 【主な付託議案】

- ・一般会計補正予算

### 【主な質疑事項等】

- ・土尻川の氾濫、住宅等の浸水被害について
- ・盛土対策について
- ・消防団の担い手不足について

現地調査(7月12日~13日 中信・南信)  
松本建設事務所などの現地機関や防災・安全交付金(道路)事業地の調査などを行いました。



下條村粒良脇トンネルの調査

## 環境文教委員会



### 【主な付託議案】

- ・一般会計補正予算

### 【主な質疑事項等】

- ・高等学校の統合について
- ・県立高校の再編・整備計画について
- ・不登校児童生徒の支援について
- ・「長野県ゼロカーボン戦略ロードマップ骨子」について



## 特別委員会の設置

※(自)自由民主党県議団、(改)改革信州、(新)新政策議員団、(共)日本共産党県議団、(公)公明党長野県議団

### ○少子化・人口減少対策調査特別委員会

少子化や人口減少は当県にとって重要な課題であり、県議会では、令和4年2月定例会で議員提案による「県民の希望をかなえる少子化対策の推進に関する条例」を制定するなど、これまでも積極的にこの課題に取り組んできました。

また、県では、これらの課題への対応をさらに進めるため、少子化対策や人口減少を前提とした、社会・経済が成り立つための仕組みづくりを、市町村や地域の様々な関係者と連携して議論する「少子化・人口減少対策戦略検討会議」を設置する予定になっています。

そこで、全会派から正副議長への委員会設置の申し入れを受け、県議会としても、国の動向も踏まえつつ、県の取組状況を調査し、少子化・人口減少対策に係る必要な提言を行うことができるよう特別委員会を設置しました。

**調査事項** ①少子化の克服に関する事項 ②人口減少に対応した社会づくりに関する事項 ③その他、①、②に関連する事項

**委員長** 風間 辰一(自) **副委員長** 小林 東一郎(改) **委員** 共田 武史(自) 寺沢 功希(自) 竹内 正美(自) 丸茂 岳人(自) 山田 英喜(自)  
花岡 賢一(改) 竹村 直子(改) 小山 仁志(新) 和田 明子(共) 清水 純子(公)



全会派の代表から正副議長への委員会設置の申し入れ



### ○決算特別委員会

**調査事項** 一般会計、特別会計及び企業特別会計の決算の認定に関する事項等

**委員長** 高島 陽子(改) **副委員長** 宮下 克彦(自)

**委員** 酒井 茂(自) 竹内 正美(自) 山田 英喜(自) 早川 大地(自) 垣内 将邦(自) 小林 東一郎(改) 丸山 寿子(改) 奥村 健仁(新) 藤岡 義英(共) 勝野 智行(公)

## 最近の議会の動き

### タブレット端末の導入による情報技術の活用

今回の6月定例会から、議員は「ペーパーレス会議システム」に保存された資料を、それぞれタブレット端末で閲覧し、本会議や委員会での審議に活用しています。

県議会では、引き続き議会の審議の充実と運営の効率化、調査力の向上やペーパーレス化の推進を図るため、情報技術の活用に取り組めます。



## 9月定例会日程

【会期16日間】

- ▽9月21日(木) 開会
- ▽9月26日(火)~9月29日(金) 一般質問及び質疑
- ▽10月2日(月)~10月4日(水) 各委員会
- ▽10月5日(木) 総務企画警察委員会
- ▽10月6日(金) 閉会

県議会ホームページをご覧ください

※本会議のインターネット中継(生中継及び録画)については、スマートフォン・タブレット端末でも視聴できます。

長野県議会

検索



県議会ツイッターをご覧ください

議会活動の情報を発信しています。皆様のフォローをお待ちしています!!

@Naganokengikai



「こんにちは県議会です」は、県議会定例会後に発行しています。議会広報に関するお問い合わせは長野県議会事務局調査課まで 〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2

TEL 026-235-7414(直通) ●FAX 026-235-7363 ●Eメール chosa@pref.nagano.lg.jp 長野県議会ホームページ <https://www.pref.nagano.lg.jp/gikai/chosa/index.html>